



大会を迎えるに當り

町長 坂田 平治

「すべて國民は児童が心身其健やかに生れ、育成されるよう努めなければならぬ。児童の幸福は、國民の幸福にあり、國民の幸福は、児童の幸福にあり。児童の幸福は、國民の幸福にあり、國民の幸福は、児童の幸福にあり。児童の幸福は、國民の幸福にあり、國民の幸福は、児童の幸福にあり。」

第三回新潟縣保育事業大會

日本に生れた子供はすべて社會全体の力によつて保護愛撫し、すくすくと美しく成長するに育つてあげなければならぬのである。児童の幸福は、國民の幸福にあり、國民の幸福は、児童の幸福にあり。児童の幸福は、國民の幸福にあり、國民の幸福は、児童の幸福にあり。児童の幸福は、國民の幸福にあり、國民の幸福は、児童の幸福にあり。

高校・工場・町民性

白根の町には高校がないけれども、他都市の高校へは相當数の生徒が通學している。假令新潟の高校へ通學して一月八八〇円、年一萬圓に上るという學費に何んの得にもならない無駄金を使つてゐる際、假令に僅少な数字であるが、五年に五百萬圓、十年に一千萬圓の金を消費してゐる勘定で、現方法を用いるなら、立派な高校を建設し得、八歳を百八十年がかりで捨ててゐるとも言へるのである。

紙上デッサン展 ①

『女性像』 魚町 伊藤 榮一



が、問題は朝七時より夜六時迄という個人的立場よりの切實な突働十時間という長時間労働の日給が七〇円平均という悲惨なものであり、一ヶ月三〇日、休みなしに働いても二千五百円にしかならない。だが就職できず得た人はできなかつた人より幸甚であり、遙かに幸福の人であるかもしれない。こう考えると白根の町には一日七〇円の収入さえ得られない人々が居ると思へるし、事実相當数は、これは確かである。以上二つのことを考えると、

誠心を傾けて

商工局長 星野 乙平

今回兼せて懇話の白根町商工局長として行はれればならぬことが多々あり、すが、その主なるものは、

- 一、中小企業協同組合の指導
- 一、街灯の設置
- 一、金融対策
- 一、経営指導

聖炎旗

始めて白根通過を決定

前年、本町のある工場で工具(主として女)を募集した處、応募人員が定員の四倍あつたのである。これは普通である。

中蒲原郡略史(1)

伊丹 末雄

昨年一年にわたる「白根町略史」と題する粗雑極る稿を發表した私は、當局の再三の要請によつて、又も姉妹書きつづることになった。実は今春、新津中蒲原郡資料集のために本郡の略史を記したことであつたが、なるべし白根町の歴史的位置を知つて頂けるようにと少し改められたものである。しかしこの町は、紙教にも制約があるから、やはり郡の略史であるには違ひがない。願わくは讀者これを諒としたまへ。

一、大化の改新以前
わが中蒲原郡は山地がおよそ三分の二を占め、平野は三分の一ほどであるが、平安時代までは平野部の多くはまだ信濃川と阿賀野川がうすめつたきなかつたので、海または沼地ではほとんど人がくららざるどころではなかつた。(昭和二十六年九月に小合村から掘り出された千二百三百年前の「松本信原氏推定」丸米舟「杉で作られ、長さ八、一米中一米ほどある」を考へては「蒲原」(カマハラ)の地名がおこつたのもまた當然である。